

- 1 開催日時 令和8年5月18日（月） 13時50分から15時30分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 校長室
- 3 出席委員 杉山邦司、小野逸子、白井竜之、黒田真也、鈴木大輔、廣瀬亜紀子
- 4 欠席委員 露木里江子、鈴木美枝子
- 5 学 校 井上純子（校長）、町田全広（教頭）、鈴木卓（CS担当）、河村拓実（生徒指導）、小林知美（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 小林知美
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から鈴木大委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）飯田小いじめ防止基本方針について
- （3）学校運営協議会の自己目標について
- （4）「夢育やらまいか」意見書について

10 会議記録

司会から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 先生方が一丸となり、指導していこうとしていて嬉しい。子供からあいさつをしてくれたり、あいさつを返してくれたりする。協力できることがあれば、前向きに協力していきたい。（杉山委員）
- ・ 経営目標の「ていねい・あったか・安心」は、家庭でも同じだと思う。あいさつは、一つ一つ根気強く教えていくと、時間はかかるができるようになる。（小野委員）
- ・ 時間外在校時間が月30時間以内とあるが、飯田小はどうですか？（白井委員）
- ・ 大体、30時間前後で、多いときでも40時間前後。飯田小は、早く帰れている。（校長）
- ・ 先生方は、在校時間が少なくても、まだまだ家で持ち帰って仕事をしているように思う。働き方改革がさらに進むといい。子供たちは、自分を守る意識が低い。西門付近の道で歩道があるにもかかわらず、道に広がり歩いている。また、親の意識も低いように思う。一斉下校の際等、先生が立って指導してほしい。（白井委員）
- ・ 働き方改革は、一般企業でも取り入れている。ハラスメント教育もしていて、教員にも取り入れているのはよい。働く人たちの余裕ができれば自然と笑顔が生まれ、教える側、教わる側にとってよりよくなっていくと思う。（黒田委員）
- ・ 気持ちよく働くためにも、働き方改革をしてほしい。先生たちも人間だから、心身の限界が来てしまうのはよくない。先生方の仕事の精選をし、減らせることは減らして、効率よく働けるようにしてほしい。学校付近で、送迎の車のマナーがよくない。通学路の歩道に車が止まっていて、歩道を歩けず危ない。保護者には色々な考え方の人がいるが、子供たちに大人のよい姿を見せたい。（廣瀬委員）
- ・ 子供を守るために、学校で子供がルールやマナーを学んで親に伝える。学校でできることは限られてしまうので、CSとして、親や地域の方に周知し、協力していただける方を増やしていきたい。（鈴木大委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 飯田小いじめ防止基本方針について

生徒指導から資料に基づき、飯田小のいじめについての実態や「飯田小いじめ防止基本方針」についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ いじめに対して、学校で指導してくれていて有り難い。地域でも見守っていききたい。(杉山委員)
- ・ いじめに対して、細かく見て対処していくことは大切。くどいくらいに根気強く言っていきたいといけない。(小野委員)
- ・ 未然に防げれば一番いい。教員がそこにいるだけで話しやすく、子供とコミュニケーションをとりやすい環境を作るためにも、教員に余裕をもってもらいたい。(白井委員)
- ・ 未然に防ぐことは難しい。昔は、あだ名とかあったが、「さん付け」の呼び方や言葉遣いの改善で昔よりよくなってきた。しかし、ユーチューブの実況動画では、言葉遣いが悪いものがある。判断が未熟な子供が、それを見ていると悪い言葉を身につけてしまう。また、誰と誰が繋がっているかがわかりにくい。その課題が改善できればいい。(黒田委員)
- ・ 会社では、ハラスメント講習を毎日やっている。子供たちにも根気よく、繰り返し伝えていくことが大事である。今の子供たちは、相手の気持ちを読むのが苦手の上辺だけの付き合いをしているように思う。いじめとケンカの違いはどこまでなのか。嫌なことを言われてケンカになったり、いじめになったりしている。やられた本人が何をされているかよくわかってない場合もある。何かされて不快に思ったことは伝えられるようになってほしい。(廣瀬委員)
- ・ 心の余裕は、先生方にももっていただきたい。子供たちに何ができるか、親にも共に考えてもらえるよう根気強く発信していきたい。ユーチューブで使っている言葉を真似するのは、かっこよく見えるのかもしれない。親がどこまで子供の言動を見ていけるかが大切。発信することはできるので、皆さんで協力してやっていけたらと思う。(鈴木大委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己目標について

教頭から、別紙資料に基づき学校運営協議会の自己目標について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(4) 「夢育やらまいか」意見書について

教頭から別紙資料に基づき、今年度の夢育やらまいか事業について説明があった。

その他報告事項等

学校支援コーディネーターから、今年度のいいだいなほ応援団年間活動予定と、ボランティアの募集方法、地域の方の協力体制の仕方についての旨の報告があった。

司会から、第2回会議は、令和8年9月15日（火）13時15分から校長室で開催する予定である旨の報告があった。